

# 行革AI活用プロジェクト「AI（アイ）プロ」の取組

---

内閣官房 行政改革推進本部事務局

# 行革AI活用プロジェクト「AI（アイ）プロ」

AI技術が進展する中、各府省庁が作成するレビューシート等のデータを活用し、行政改革の取組の有効性を更に高めるため、以下の課題に対して、横断的プロジェクトにおいて検討を開始。

## ①レビューシート等の質の向上

レビューシートは約5700あるものの、その事業の中身は様々。どのようにすれば、事業の特性にあった適切なロジックモデルを、効率的に設定できるか。

EBPMをさらに進めていく上では、設定している成果指標が適切か、成果指標・実績として利用可能なデータがあるのか、それらのデータは容易に取得できるのか、などを確認していく必要がある。

## ②AI技術の活用

AI技術を活用することで、その質の確保や、EBPMに必要なデータの探索等を効率化できないか。

- (1) 事業の目的等の記述部分、
- (2) ロジックモデルや成果目標・指標・実績等のEBPMに関する部分、
- (3) 事業所管部局・外部有識者・省内の行政事業レビュー推進チームによる点検・評価に関する部分、

のそれぞれについて、AI技術を活用できないか。

## ③RSシステムのUI/UXの改善

RSシステムについて、各府省庁から、以下のようなフィードバックあり：

- ・ 未入力、入力ミスがある項目を減らす仕組みがほしい。
- ・ 支出先法人の住所を表示してほしい。閉鎖済み法人は省いてほしい。等

入力機能の改善により、データの正確性の確保やシートの作成・確認作業の効率化（行政コストの低減）に繋げていく。

これにより、ねん出された時間を、事業の効果を高めるための執行上の工夫や、新たな政策の検討に充当（行政の生産性向上）。

## ④「見える化」の充実・強化

RSシステムについて、各府省庁から、以下のようなフィードバックあり：

- ・ 複数キーワード、複数の数式条件で検索したい。等

検索・分析機能の拡充により、国民への「見える化」を充実・強化するだけでなく、予算編成過程等でレビューシート等のデータを活用することにより、ワイズ・スペンディングに繋げていく。

# 「AIプロ」の方向性

①レビューシート等の質の向上、②AI技術の活用、③RSシステムのUI/UXの改善、④「見える化」の充実・強化に向けて、以下の3つの取組を進めていく。

## 1. 行政事業レビューAIアイデアソン・ハッカソン

### テーマ

第1弾（案）：  
行政事業レビューシート作成・点検に関する  
各府省庁の課題を解決

### 参加者

課題を持つ：行革事務局、各府省庁(P)  
解決する：エンジニア等

### 期間

事前に随時 課題の募集  
春頃（P）アイデアソン・ハッカソン

## 2. レビューシートのデータ分析及びAIの利活用等に関する調査研究

### 項目

- A) レビューシートの質の分析
- B) レビューシートの質の向上におけるAIの活用可能性の調査
- C) 他システムとの連携の可能性、効率化、データの正確性の確保に向けた調査
- D) AI活用及び他システムとのデータ連携を前提としたデータ構造のあるべき姿の検討
- E) 次期RSシステムに取り込むべき必要事項の整理

等

## 3. RSシステムの機能改修

### 項目

- A) 入力機能の改善や作成支援機能の強化
- B) データ利活用のための検索機能の強化
- C) 「見える化」の充実・強化のための機能追加

等

## 今後の予定

- AI技術等を活用して解決してほしい、行政事業レビューの個別の課題・お困りごとの募集（行革事務局→各府省のEBPM部局、会計部局）
- アイデアソン・ハッカソン（春頃（P））の場で、行革事務局・各府省のEBPM部局、会計部局とCSPエンジニア等で意見交換・プロトタイプ開発